



東地中海地域ニュース

トルコ：中東和平に関するトルコの外交

(8月2日付現地紙)

8月2日付け現地紙は、中東和平に関するトルコ外交筋の話として、概要以下のとおり報じた。

1. ファタハ と ハマス 間の仲介

トルコ外交筋は、トルコ政府がエジプト政府に対して、パレスチナ国民対話におけるファタハとハマスの仲介役を降りるように求めたとの報道を否定し、「このような主張は、国際的な外交上のルールに適っておらず、トルコの中東政策にも一致しない。パレスチナ内融和の仲介者としては、エジプトが最適の国である」と述べた。

2. シリア と イスラエル 間の和平交渉

(1)シリアは、トルコの仲介によるイスラエルとの和平交渉再開に前向きであるが、イスラエルからの反応は未だにない。

(2) (ギョル大統領、エルドアン首相及びダーブトオール外相がシリアを訪問していることに関して)現時点で、政府高官のイスラエル訪問は予定されていないが、機が熟したら実現するであろう。イスラエルは我々の親しい隣国であり、同盟国である。我々は、イスラエル・シリア間の和平交渉の再開を期待している。